

## 第 21 回 SAT 賛助会員交流会（8 月 8 日（木））開催のご案内

つくばサイエンス・アカデミー

第 21 回 SAT 賛助会員交流会を下記の要領で開催します。

賛助会員交流会は SAT を支援していただいています賛助会員同士および賛助会員とつくばの研究者との交流会です。賛助会員の事業紹介とともにつくばの研究者による研究紹介（今回はベンチャー創業者を含む）を行い、賛助会員と研究者との交流による新しい「知の触発」に繋げていくことも目的としています。多くの賛助会員、個人会員および一般の方の参加もお願い致します。

**申し込み先**：メールで宛先 [academy@epochal.or.jp](mailto:academy@epochal.or.jp) まで、

「第 21 回賛助会員交流会参加」と記載し、①氏名、②所属機関・部署・役職、③連絡先（電話、e-mail）、④懇親会（1,000 円/人 当日徴収）の参加・不参加をお知らせください。

**問い合わせ先**：つくばサイエンス・アカデミー（TEL 029-861-1206）まで

記

**日時** 2019 年 8 月 8 日（木） 午後 1 時 30 分～6 時 30 分

**会場** つくば国際会議場 303 室 および サロンレオ

### I. 交流会（つくば国際会議場 303 室） 午後 1 時 30 分～4 時 45 分

#### ・開会挨拶

#### ・賛助会員事業紹介（質疑応答含め各 30 分）

① キッコーマン株式会社 研究開発本部 研究開発推進部

戦略グループ グループ長 阪上了一様

「キッコーマンの事業紹介」

② 浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 筑波研究センター長（理事） 伊藤博康様

「浜松ホトニクスの事業紹介」

#### ・つくば研究者講演（質疑応答含め各 30 分）

① 産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター

官能基変換チーム 佐々木一憲様

「生物資源と触媒技術に基づく食・薬・材創生コンソーシアム

における活動紹介」

② 株式会社 S I J テクノロジ

代表取締役社長 村田和広様

「スーパーインクジェット技術の実用化 ～国研発ベンチャーによるとりくみ～」

#### ・総合討論

#### ・閉会挨拶

### II. 懇親会（サロンレオ） 交流会終了後（午後 5 時～午後 6 時 30 分）

を予定しています。

## (資料)

### 賛助会員事業紹介

#### ① キッコーマン株式会社 研究開発本部 研究開発推進部

戦略グループ グループ長 阪上 了一様

##### 「キッコーマンの事業紹介」

(講演要旨) 当社は、1917年に千葉県野田・流山の醸造家が、合同して設立されました。しょうゆとみりんの製造販売からスタートし、現在は調味料や飲料を中心とした食品の製造販売と東洋食品の海外における卸売りを両輪として、世界的に事業展開しています。私たち研究開発部門では、微生物や発酵・醸造に関する技術開発、食品や飲料に関する商品開発、健康、おいしさや安全に関する研究開発を通じて、事業と商品の価値を高めながら、新しい事業の柱の構築を目指して活動しています。

#### ② 浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 筑波研究センター長(理事) 伊藤博康様

##### 「浜松ホトニクスの事業紹介」

(講演要旨) 浜松ホトニクスの光応用産業への貢献は、他製品メーカー様とは異なり、産業の逆ピラミッド構造のボトムに位置しています。光センサや光源などのデバイスを供給する弊社がボトムに位置し、その上に、モジュールを作るお客様、モジュールをシステム化するお客様、さらに、システムを導入してサービスを提供するお客様がいらっしゃいます。弊社の製品は、最終製品やサービスの性能や質を左右する光応用産業の核となる Key Enabling Technology だと自負しております。弊社の戦略としては、新しい光技術のアプリケーションを見つけ出し、逆ピラミッドの角度を広げることにあるとも考えています。研究・開発部署の取り組みをご紹介させていただきたいと思っています。

### つくば研究者講演

#### ① 産業技術研究所 触媒化学融合研究センター 官能基変換チーム 佐々木一憲様

##### 「生物資源と触媒技術に基づく食・薬・材創生コンソーシアムにおける活動紹介」

(講演要旨) 当コンソーシアムでは、バイオマス等の未活用生物資源をはじめとする様々な資源、及び、資源中に含まれる機能性成分などを、触媒技術により有用なものに変換することで、機能性食品などの「食」、医薬品などの「薬」、バイオプラスチックなどの「材」の開発を目的としている。また当コンソーシアムでは、触媒変換や化学変換のみならず、筑波大学などの研究機関と連携することで、生理活性評価や作用機序の解明等も行える包括的な連携研究体制を確立している。こうした異分野技術の融合した研究体制により、これまで解決できなかった課題に新たな発想から解決を導き出すきっかけを得たり、異分野技術の導入によって解決できたりすることが、本コンソーシアムの特徴である。

② 株式会社S I Jテクノロジー 代表取締役社長 村田和広様

「スーパーインクジェット技術の実用化 ～国研発ベンチャーによるとりくみ～」

(講演要旨) 産総研技術移転ベンチャー・株式会社SIJテクノロジー(2005年創業)は、ナノテクノロジー研究の過程で開発された、従来の1/1000以下の液滴吐出技術(スーパーインクジェット)を実用化し装置化し世界中に販売している。インクジェット技術を工業用のプロセスとして用いることで、必要な場所に最少の材料を直接投入できるため、省資源・省エネのオンデマンドのものづくりが可能となる。スーパーインクジェットの紹介と、国研の技術開発成果のベンチャー化の実例を紹介する。